



2026年3月期 第3四半期 決算補足説明会

株式会社エディオン

2026年2月6日

- 1. 2026年3月期 第3四半期 実績報告**
- 2. 業績予想 および 出店計画**
- 3. トピックス**

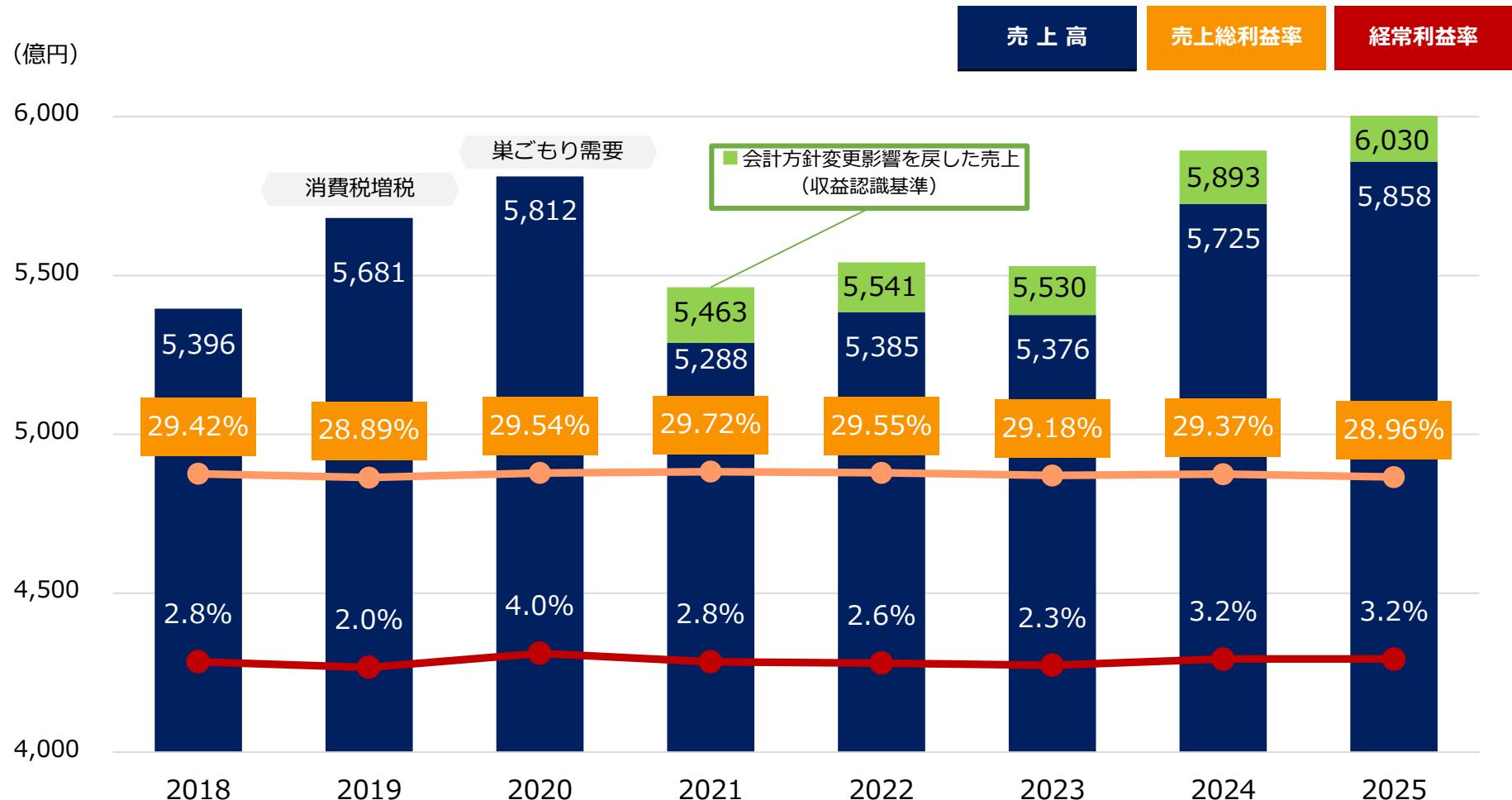
1. 2026年3月期 第3四半期 実績報告

連結損益計算書（第3四半期累計）

百万円・%	2025年3月期 3Q累計			2026年3月期 3Q累計			
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減
売上高		572,580	106.5		585,869	102.3	13,288
売上総利益	29.37	168,171	107.2	28.96	169,663	100.9	1,492
販売管理費	26.25	150,300	104.0	25.90	151,735	101.0	1,435
広告宣伝費・販売費	6.4	36,840	103.7	6.3	37,132	100.8	292
人件費	10.7	61,148	103.2	10.6	62,176	101.7	1,028
設備費・その他管理費	7.6	43,564	103.8	7.5	43,739	100.4	174
減価償却費	1.5	8,746	111.3	1.5	8,686	99.3	-60
営業利益	3.12	17,871	145.6	3.06	17,928	100.3	57
営業外収益	0.2	1,151	101.0	0.3	1,474	128.1	323
営業外費用	0.1	515	61.0	0.1	693	134.5	177
経常利益	3.2	18,507	147.2	3.2	18,709	101.1	202
特別利益	0.0	142	94.3	0.1	347	243.7	204
特別損失	0.1	415	109.8	0.1	731	176.1	316
税金等調整前四半期純利益	3.2	18,234	147.7	3.1	18,325	100.5	91
法人税等合計	1.0	5,941	137.5	1.0	5,872	98.8	-68
非支配株主に帰属する 四半期純利益	0.0	50	-192.5	0.0	32	63.7	-18
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2.1	12,242	152.1	2.1	12,420	101.5	178

業績サマリ							
売上高							
既存店前年比 102.2%(10月-12月 104.9%)							
エアコンが引き続き好調に推移する中、Win10サポート終了に伴うPC需要の増加や、ゲーム玩具の好調に加え、携帯電話の継続的な伸長により、増収となりました。							
出店：4店舗 閉店：2店舗							
売上総利益							
売上総利益率 28.96% 前年差 ▲0.41pt							
粗利ミックスにより率は低下したものの、売上増加にともない増益となりました。							
販売管理費							
ペアの影響による人件費増はあるものの、売上高の増加とともに、広告宣伝費の削減などにより販管费率は前年より0.35pt改善しました。							
営業外収益							
リコール対応手数料収入等により増加しました。							
営業外費用							
借入金利上昇に伴う支払利息の増加、CVC運営費用の計上により増加しました。							
特別利益							
フリーペーパー事業撤退に伴う補償金約200百万円							
特別損失（主な内訳）							
資産除去費用 +135百万円 閉店・改装等							
固定資産除却損 +111百万円 改装等							

業績推移（第3四半期累計）



- 売上高（会計方針変更前）においては、2018年度以降最高となりました（家電工コポイントで需要が増加した2010年度以降で最高売上）。
- 売上総利益率 当期実績 28.96% 前期 29.37% ▲0.41pt低下しました（パソコン・ゲーム機等の影響）。
- 販売管理費比率 当期実績 25.90% 前期 26.25% 0.35pt改善／経常利益率は3.2%となりました。

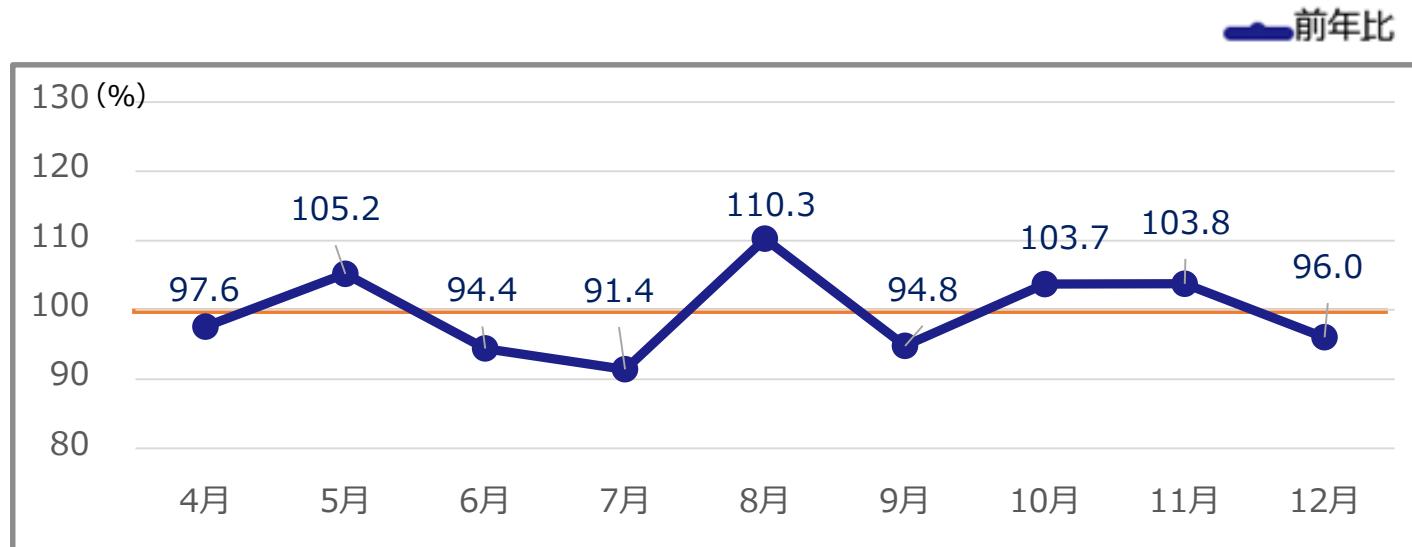
主要商品別受注売上

(商品別受注前年比 (POSベース))

テレビ

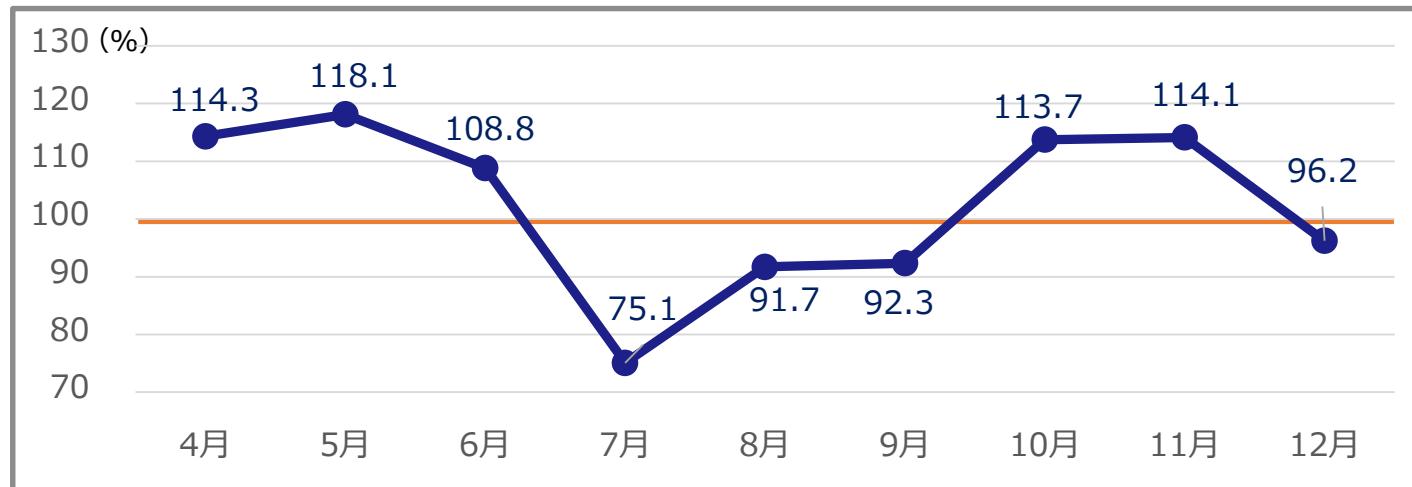
第3四半期累計
前年比 99.0%

mini-LED搭載の大型モデルが好調に売り上げを牽引。一律的な下降トレンドから底打ち感のあるトレンドへ移行している。

エアコン

第3四半期累計
前年比 97.7%

前年に猛暑・酷暑による強い需要があった2Qはハードルが高かったものの、必需品として底堅い需要が継続している。



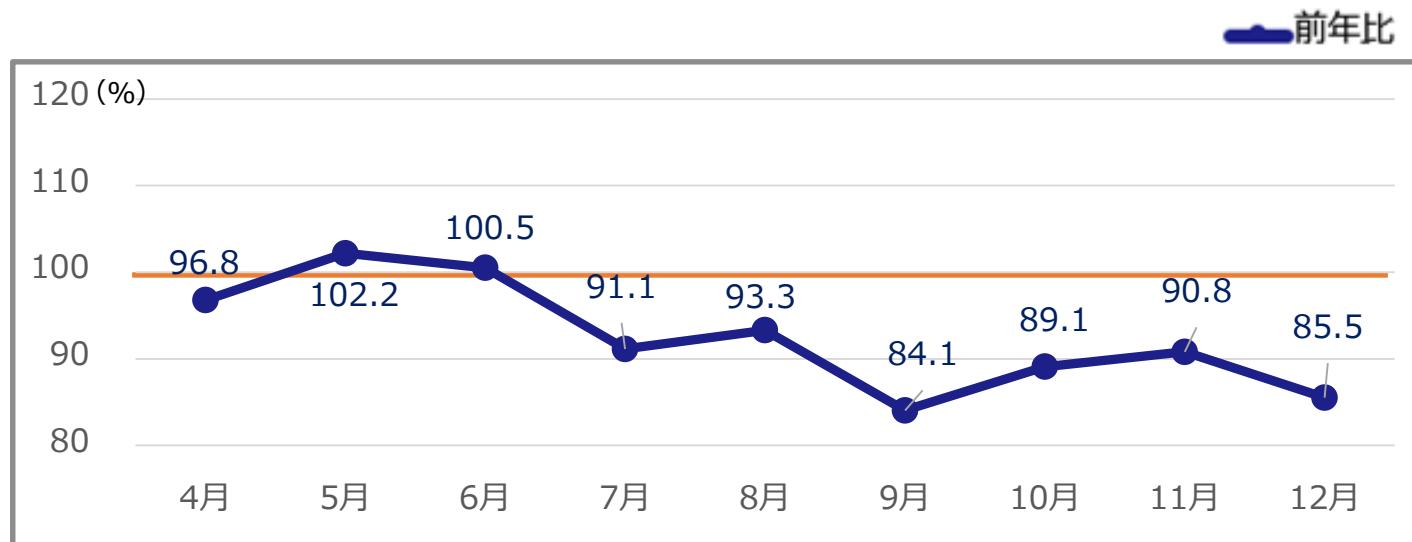
主要商品別受注売上

(商品別受注前年比 (POSベース))

冷蔵庫

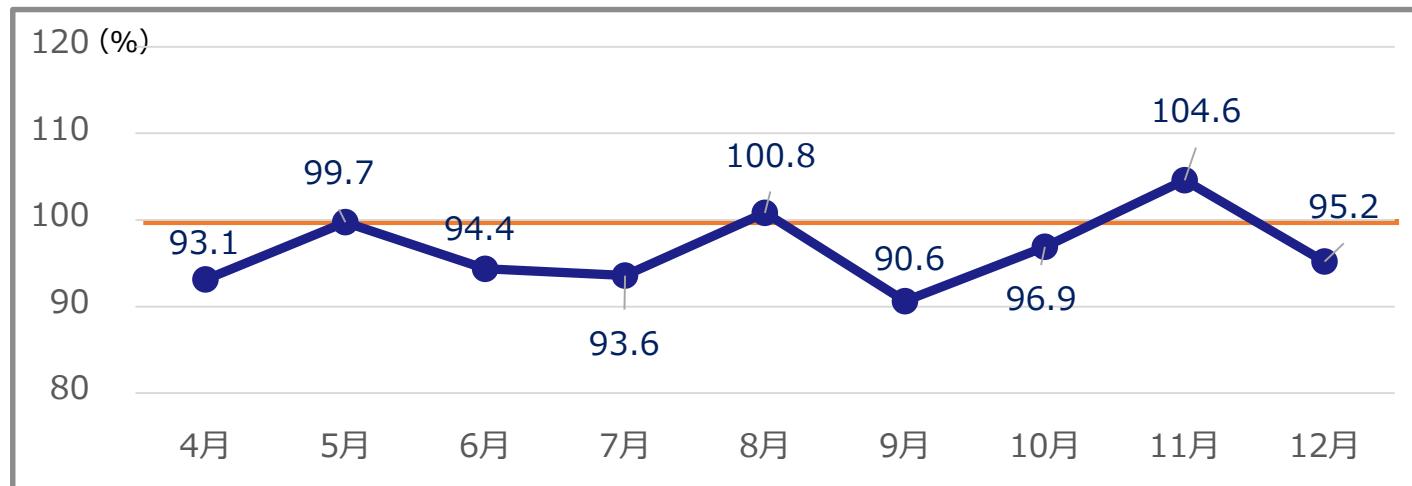
第3四半期累計
前年比 92.4%

冷蔵庫の買い替え需要
は全体的にも弱い。
500L以上の大型、省エネ
モデルの買い替え需要
は一定の継続がみら
れる。

洗濯機

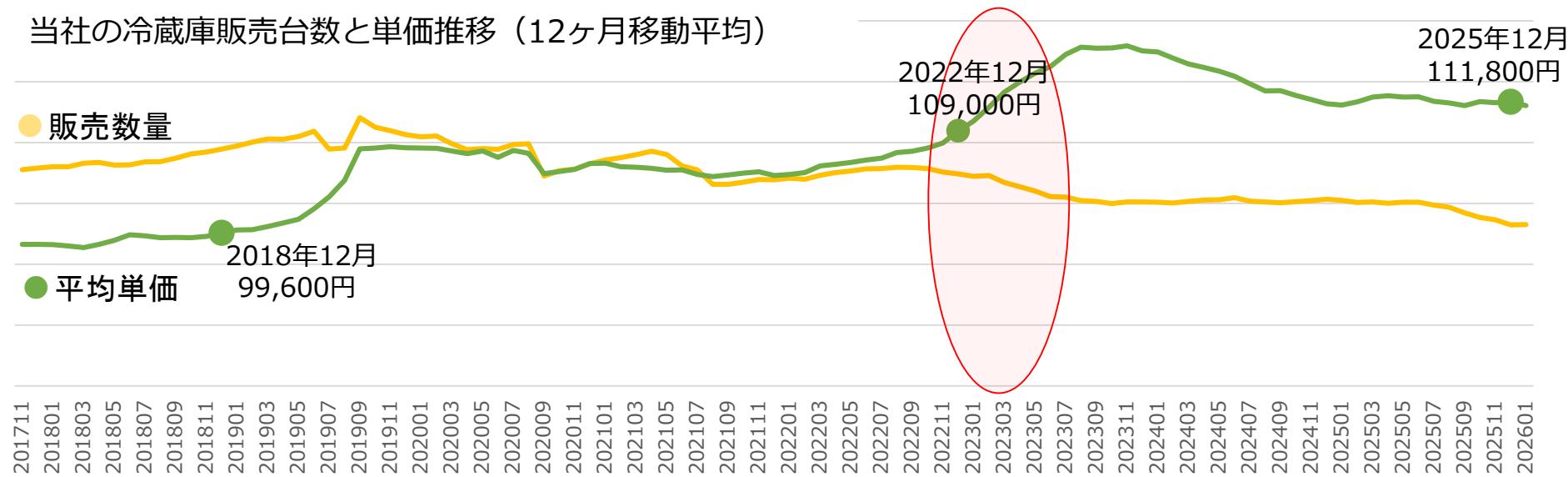
第3四半期累計
前年比 96.4%

ドラム型や9Kg以上の大
型の縦型洗濯機が好調
に推移している。



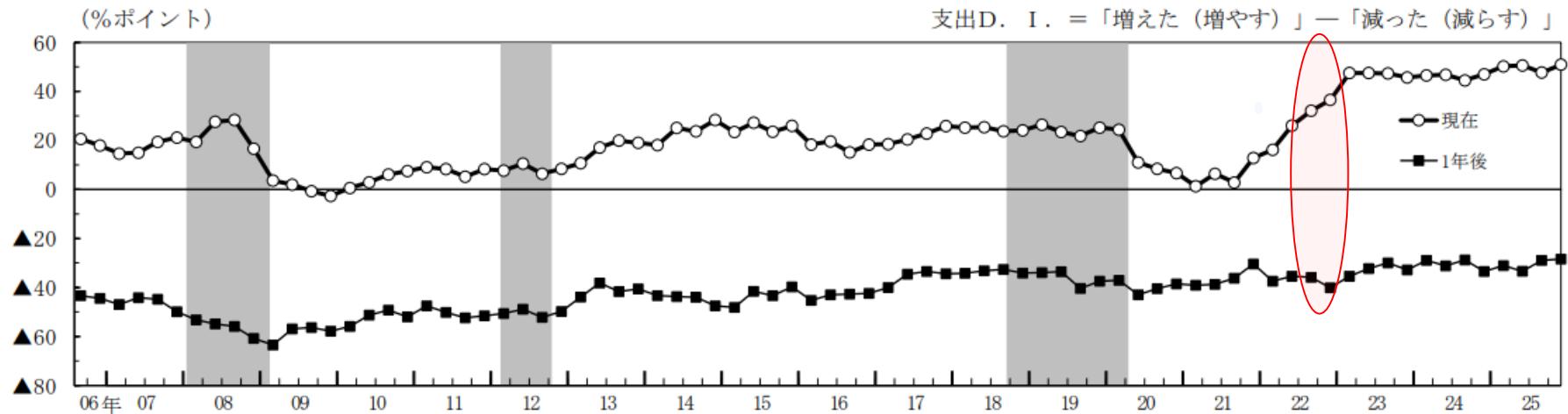
(参考) 冷蔵庫の販売動向

当社の冷蔵庫販売台数と単価推移（12ヶ月移動平均）



<支出D. I. の推移>

日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」（第104回<2025年12月調査>）の結果 n=4000人



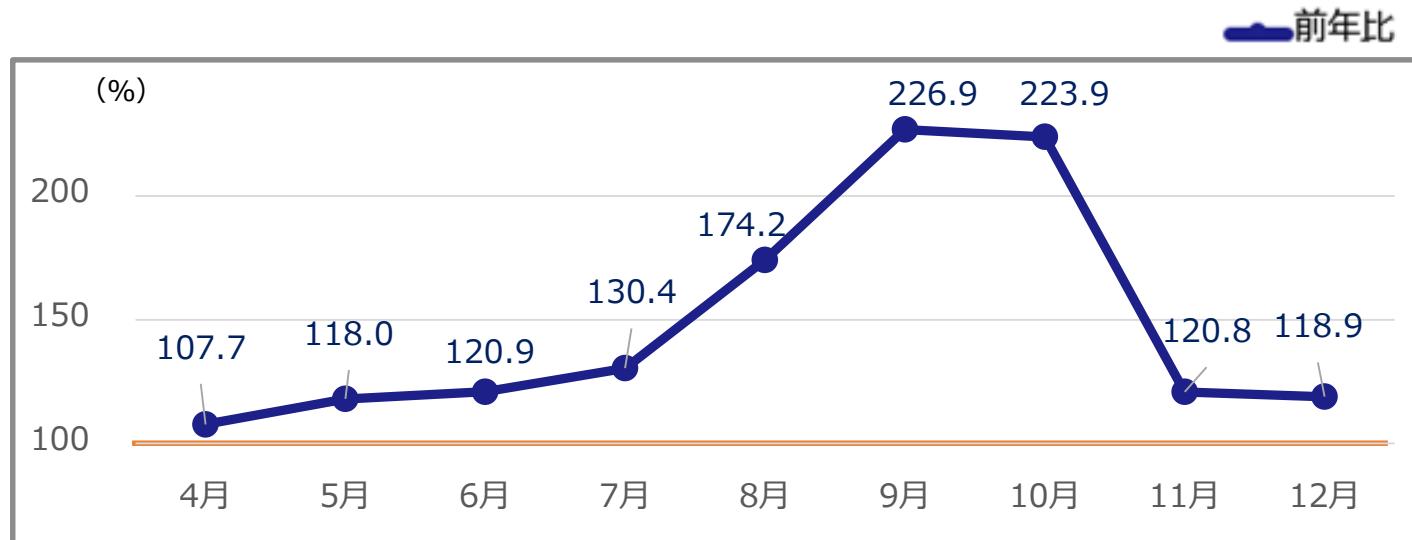
主要商品別受注売上

(商品別受注前年比 (POSベース))

パソコン

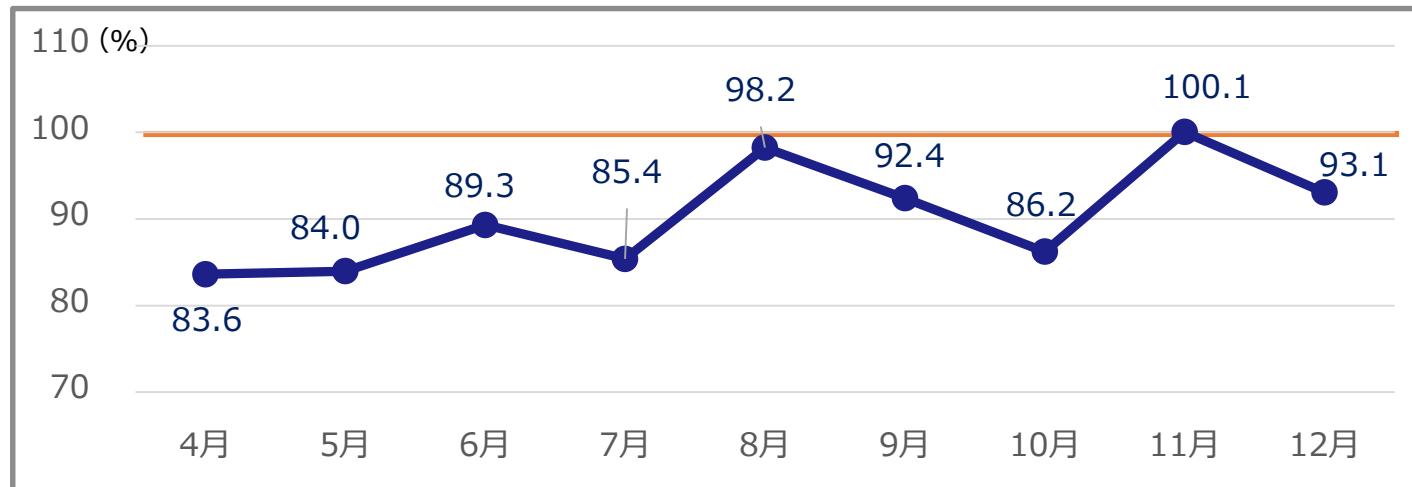
第3四半期累計
前年比 146.2%

Windows10サポート終了(2025年10月)にむけた買い替え需要は強く、冬商戦のなかでも堅調に推移した。

ELS (リフォーム事業)

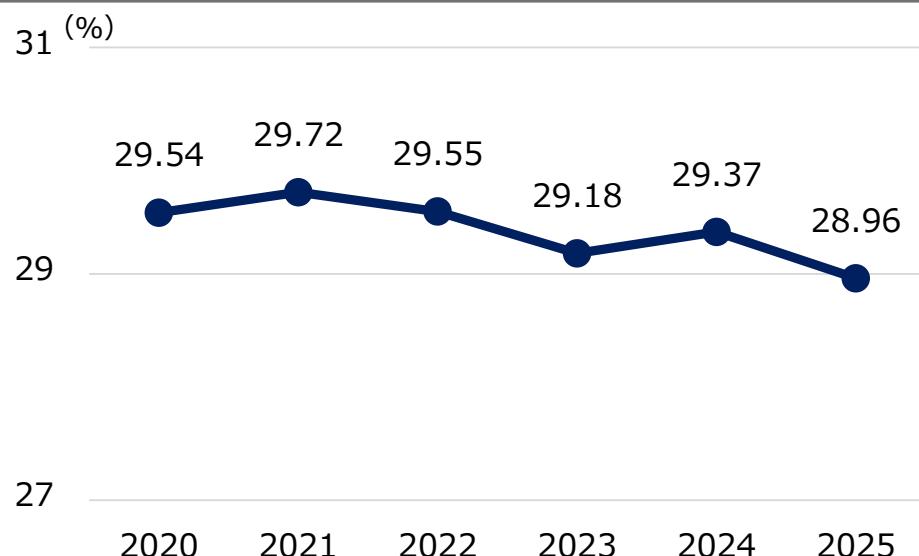
第3四半期累計
前年比 90.2%

2024年度の政府のリフォーム補助金による売上伸長は強く、影響は10月頃まで継続。前年割れとなりました。



売上総利益率・販管費率の状況

売上総利益率



売上総利益率

当期 28.96% 前期 29.37% 前期差 △0.41pt(+14.9億円)

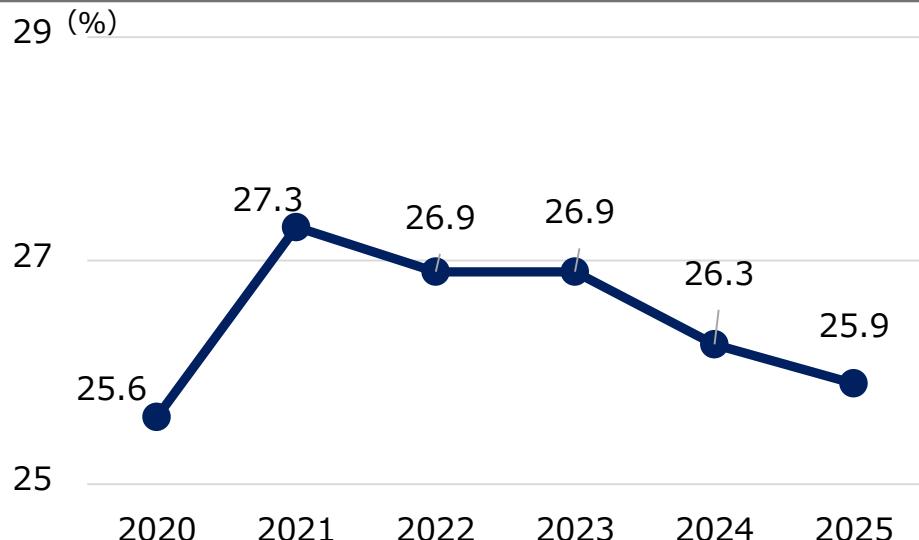
(内訳) 当期 前期 差

上期累計	29.89%	30.17%	△0.27pt (+5.0億円)
第3四半期	27.16%	27.80%	△0.64pt (+9.8億円)

(主な要因)

第3四半期は特にゲーム・玩具の構成が高まり、この影響で0.49pt粗利率を押し下げました。そのほか、パソコンの構成が高まった影響で0.18pt粗利率を押し下げました。

販管費率



販管費率

当期 25.90% 前期 26.25% 前期差 △0.35pt

販売費及び一般管理費

当期 1,517億円 前期 1,503億円 前期差 +14.3億円

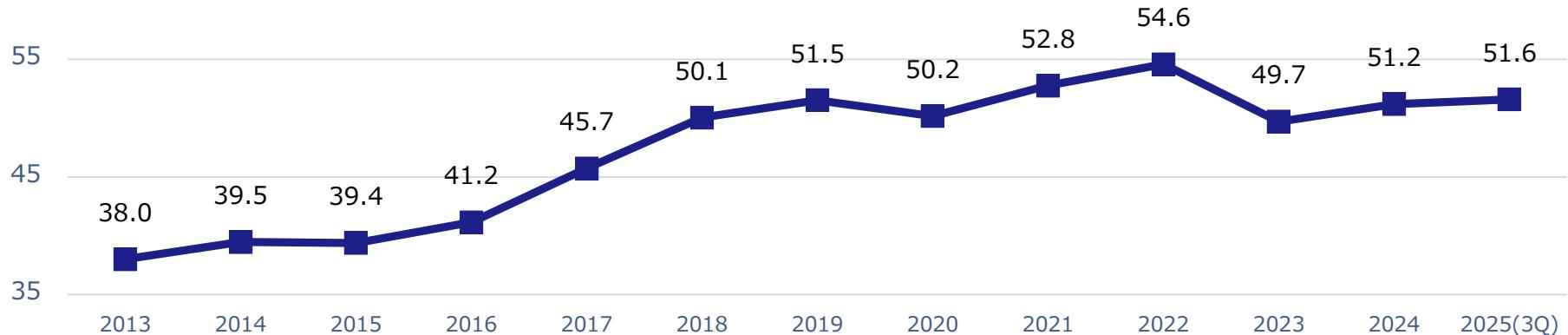
(主な金額増加要因)

- 広告宣伝費・販売費 + 2.9億円 (売上変動+4.1億円)
- 人件費 + 10.2億円
- 設備費・管理費 + 1.7億円
(消耗品+2.3億円 貸借料△0.8億円)
- 減価償却費 △ 0.6億円

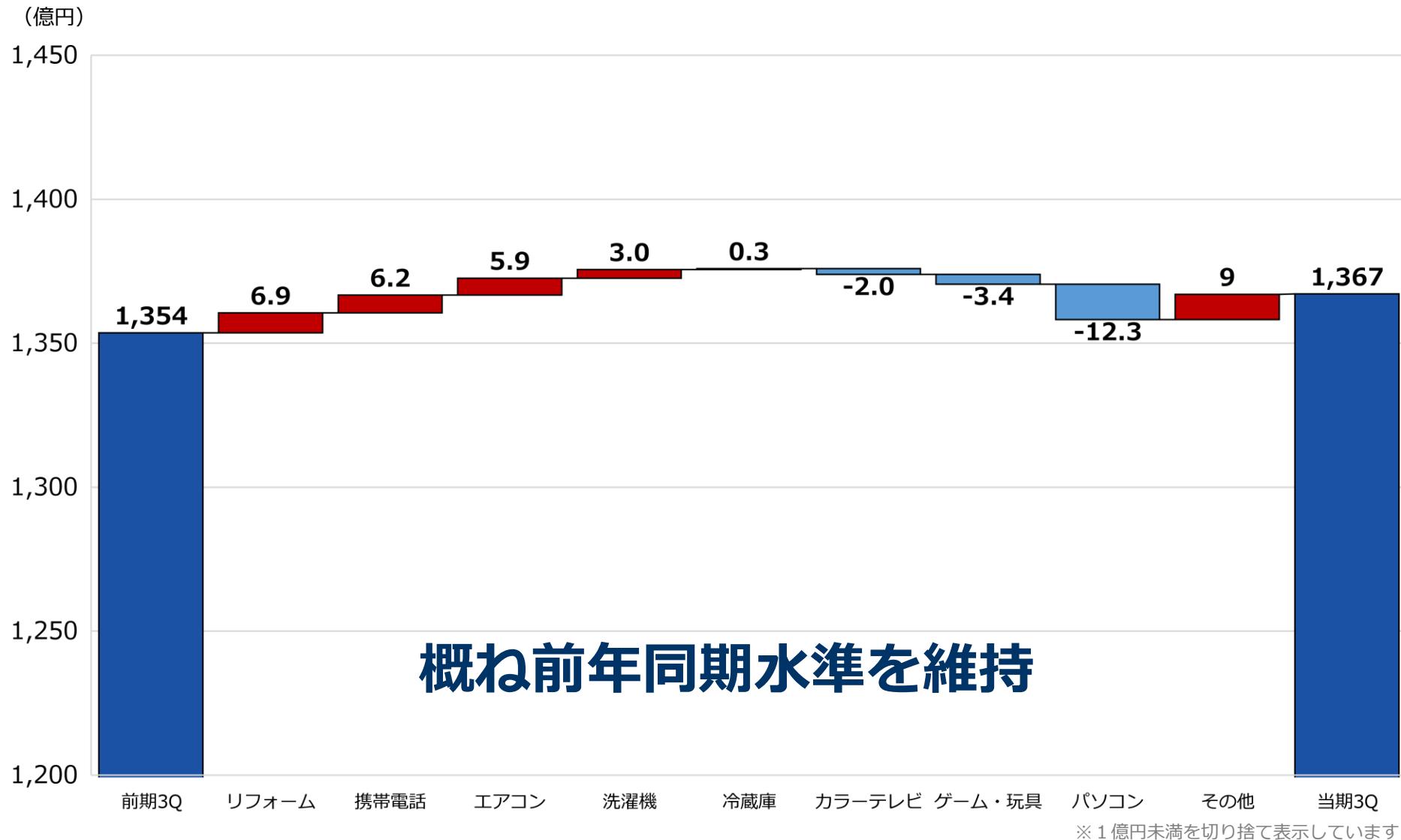
連結貸借対照表

				(百万円)				
資産	2025年 3月末	2025年 12月末	増減		2025年 3月末	2025年 12月末	増減	
現金及び預金	8,834	10,829	1,995		短期借入金	31,255	25,584	△5,670
商品及び製品	120,087	136,715	16,628		1年以内返済長期借入金	3,470	9,868	6,398
その他	62,251	55,453	△6,797		1年以内返済社債	2,510	—	△2,510
流動資産	191,173	202,999	11,825		流動負債	144,220	154,107	9,887
有形固定資産	175,690	175,503	△187		長期借入金	40,667	34,621	△6,045
無形固定資産	11,934	10,903	△1,031		固定負債	67,664	61,630	△6,034
投資その他の資産	56,032	57,130	1,098		負債合計	211,884	215,737	3,853
固定資産	243,657	243,537	△120		純資産	222,946	230,798	7,852
資産合計	434,830	446,536	11,705		負債・純資産合計	434,830	446,536	11,705

■自己資本比率(%)



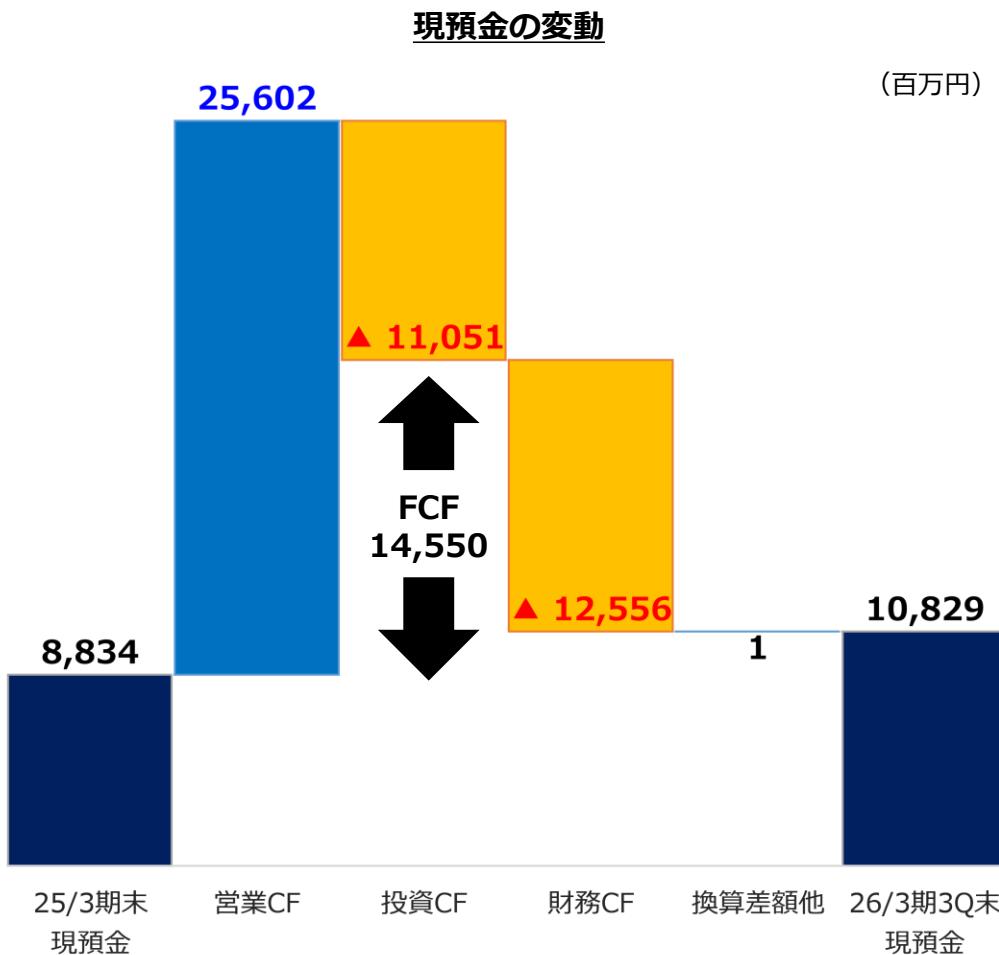
主要商品別在庫状況 (前年同期比較)



※ 1億円未満を切り捨て表示しています

連結キャッシュフロー計算書

- 「営業キャッシュフロー」は法人税等前では348億円と増加しました。
- 「投資活動に伴うキャッシュフロー」は前期並みで、「フリーキャッシュフロー」は145億円となりました。



	連結キャッシュフロー計算書 (百万円)	2024年 12月末	2025年 12月末
税引前当期純利益	18,234	18,325	
賞与引当金	△2,664	△3,042	
売上債権（△は増加）	3,633	3,397	
棚卸資産増減（△は増加）	△17,527	△16,680	
その他	32,975	32,838	
小計	34,652	34,838	
法人税等	△4,998	△8,944	
その他	△182	△290	
①営業活動CF	29,472	25,602	
有形固定資産取得	△8,031	△8,312	
その他	△2,748	△2,739	
②投資活動CF	△10,779	△11,051	
①+②フリーキャッシュフロー	18,693	14,550	
短期借入金	△10,078	△5,670	
長期借入金	△899	371	
自己株式取得	△4,991	△2,017	
配当金支払	△4,389	△4,501	
その他	△755	△739	
③財務活動CF	△21,113	△12,556	
①+②+③現金及び現金同等物の増減額	9,590	10,829	

2. 業績予想 および 出店計画

連結業績予想

百万円・%	上期		下期		2026年3月期			
	実績	前年比	業績予想	前年比	売上比	業績予想	前年比	前年増減
売上高	385,668	101.4	404,331	104.3		790,000	102.8	21,870
売上総利益	115,287	100.4	113,213	104.7	28.92	228,500	102.5	5,634
販売管理費	101,500	101.2	102,000	102.8	25.8	203,500	102.0	4,029
広告宣伝費・販売費	24,971	100.8	24,467	103.4	6.3	49,438	102.1	995
人件費	41,491	101.9	41,604	101.6	10.5	83,095	101.8	1,434
設備費・その他管理費	29,268	100.3	29,949	105.5	7.5	59,218	102.8	1,639
減価償却費	5,769	102.8	5,978	96.8	1.5	11,748	98.7	-40
営業利益	13,787	95.1	11,213	126.0	3.2	25,000	106.9	1,605
経常利益	14,353	95.5	11,646	124.9	3.3	26,000	106.8	1,649
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,336	93.1	5,163	126.3	1.8	14,500	102.7	381

- 売上高 既存店前年比：上期実績 100.9% / 下期 103.9% / 通期予想 102.5%
- 粗利率 上期実績の影響から減少見込み 28.92% (前期実績 29.01%)
- 販売費および一般管理費
(前期からの主な増減要因)
 - ・広告宣伝費・販売費：新店分および売上変動分の増加
 - ・人件費：給与ベースアップ
 - ・設備費・管理費：新店家賃等の増加、移転・改装等の一時経費

出店・移転・閉店実績 および 計画

出退店計画 / 実績			新設	移転・建替	閉鎖	増減	期末店舗数
2025年3月期	実績	通期	7店舗	1店舗	7店舗	±0店舗	454店舗
2026年3月期	計画	通期	3店舗	5店舗	-	+3店舗	457店舗
	実績	3Q累計	4店舗	4店舗 (うち非家電1店舗)	2店舗	+2店舗	456店舗



エディオングループ計

1,183 店舗

直営店 456店舗 ■ フランチャイズ店 727店舗

※2025年12月末時点

2025年10月 飯田インター店（長野県）S&Bオープン

3. トピックス

サービスメニューの強化

「電球交換」から「エアコンクリーニング」「バリアフリーリフォーム」まで

-100 以上のサービスメニューで家電のプロがお客様のお悩みを一括解決-



2025年11月14日、エディオン直営全店に「お困りごと相談センター」を設置いたしました。家電や住まいに関する「ちょっとした困りごと」を気軽に相談できる場を提供することで、皆さまの快適で豊かな生活をサポートいたします。

オリジナルPB商品 イーアングル[e angle]

くらしを、新しい角度から。



既成概念にとらわれない独自の角度から
家電やくらしを見つめなおして
生み出されています



第3四半期発売の商品

発売日	商品名
10月29日	オープンレンジ
11月11日	ハンドブレンダー
11月14日	ハイブリッド加湿器
11月26日	人感セラミックヒーター
11月29日	ホットサンドメーカー
12月17日	ダストステーション付きクリーナー
12月18日	エアリフレッシャー
12月29日	マルチクリーニングペン



<https://www.edion.com/eangle>

ニトリとの共同開発商品

第3四半期発売の共同開発商品

両社合計販売実績が100万台突破！



エディオンの直営店*とエディオンネット
ショップでも取り扱いをしています



発売日	商品名
10月7日	プロジェクター
10月17日	LED シーリングライト
10月24日	タンク運べるらく給水加湿器
11月18日	ナノうるおいミスト美髪ドライヤー
12月20日	注ぐ量を調節できる電気ケトル（0.8L）
12月26日	ノンオイルフライヤー（2.2L）



*一部取り扱いのない店舗もございます

スポーツチームの活躍



2025年11月23日（日）女子陸上競技部
「第45回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会」
1989年の創部以来の初優勝！



2026年1月25日（日）女子陸上競技部
「第45回大阪国際女子マラソン」
初マラソン日本最高記録を樹立！



POWER OF SPORTS



ESG・サステナビリティへの取組み

「お客様の豊かな暮らしを永続的に支える企業」でありたいと考えています



Environment

- CO₂排出量削減目標：
CO₂削減ロードマップ策定
2030年度目標 2013年度比46%削減
2050年度目標 カーボンニュートラル
- 環境に優しい店舗づくり：
Nearly ZEB認証取得 2店舗
太陽光発電システム設置拠点数：87拠点
P P A モデルの導入も推進
- 循環型社会の実現：
小型家電リサイクルの推進
家電リユースの推進



Social

- 人材育成の推進：
エディオンアカデミーによる将来人材育成
独自の社内認定制度「スキル認定」の導入
- 健康経営への取り組み：
健康経営優良法人（大規模法人部門）
6年連続認定
働き方改革の促進
- 地域貢献活動：
障がい者自立支援（パラリンアート協賛）
スポーツを通じた地域貢献



Governance

- 監査等委員会設置会社へ移行（2024年6月）
- 取締役会のガバナンス強化：
社外取締役比率、女性取締役比率の向上
- 指名報酬委員会：
独立役員社外取締役比率 75%
- サステナビリティマネジメント：
サステナビリティ推進委員会設置（2022年6月）
サステナビリティ方針制定（2023年5月）
- 取締役会の構成



※詳細は当社コーポレートサイトをご確認ください：<https://www.edion.co.jp/sustainability>

株価・配当推移

ROI向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。

■ 株価推移

2200

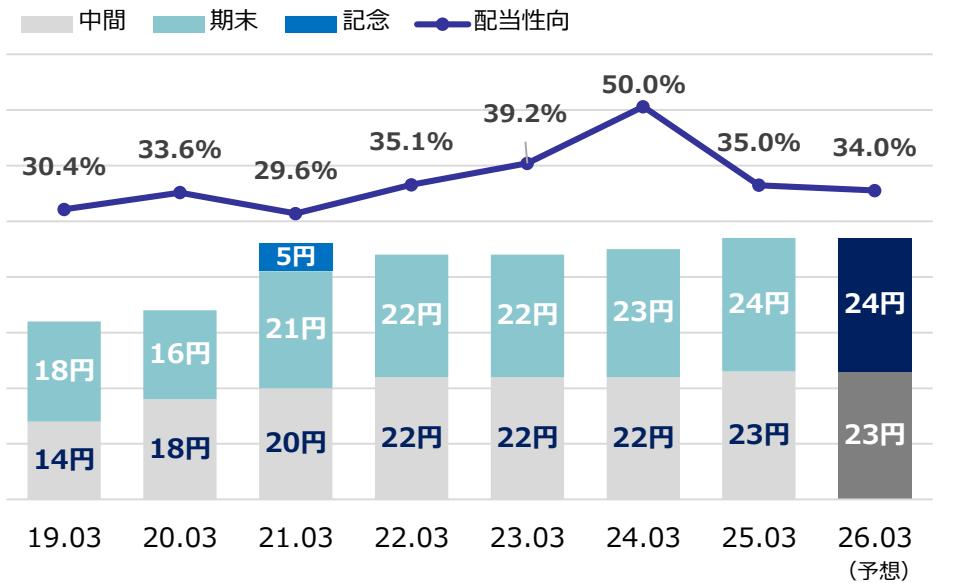
1700

1200

700

200

2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025



19.03 20.03 21.03 22.03 23.03 24.03 25.03 (予想) 26.03 (予想)



注意事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、
本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、
通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- ・本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、
その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、
当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われないようお願いいたします。

2026年2月6日